



発行所  
群馬県館林市尾曳町6-1  
群馬県立館林女子高等学校  
同窓会  
印刷所  
株式会社  
東京広告



ご挨拶

同窓会長 奥田和子

同窓会員の皆様におかれましては、お元気で過ごされてのこととお喜び申し上げます。

また、同窓会活動に対し、ご支援とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

八年間にわたり、同窓会長としてご尽力くださいました、仁田征子前会長の後を受け、会長の重責を仰せつかりました、奥田和子でございます。

仁田前会長におかれましては六年前の創立百周年記念事業実行委員長としてご尽力され、そのご功勞に心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。私もPTA会長として、館女生であった娘と共に百周年を迎えられたことは感無量

でした。

本校は、大正六年四月、館林町立実科高等学校として開校しました。今年度で創立百六年を迎えます。創立以来、二万九千名を超える卒業生を輩出し、同窓生の皆様は県内外はもちろん、海外でも活躍されております。

親睦を図り、教養を高め、母校の発展に寄与することを目的に発足されました。歴代会長をはじめ、多くの役員・同窓生の皆様、校長先生はじめ教職員の皆様のご尽力によって築かれました同窓会の歴史と伝統を振り返りますと、その重責に身の引き締まる思いです。若輩者の私ではござい

ますが、皆様のお力をお借りしまして、母校と同窓会の発展のため、力をつくして参りますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

同窓会活動に参加させていただきます

ただく中で、九十年代の大先輩を始め、たくさん同窓生の先輩方との出会いがありまして、楽しく交流させていただいております。皆さん、地域社会に貢献され、今も頭脳明晰、凛としたお姿で品格があり、素晴らしい方々ばかりです。そして、皆、母校と校歌を愛し、館女卒業生としての誇りを持っておられることに感動しております。

この三年間、コロナ禍により、同窓会活動も思うようにはできませんでした。総会も従来のように一堂に会してではなく、総会資料を郵送し、書面開催という形をとらせていただきました。また、秋の観



劇会も中止せざるを得ませんでした。三年にわたるコロナ禍で、社会情勢は大きな変革の時を迎えました。しかし、同窓会の活動を止めることなく前に進めるため、皆様と知恵を出し合いながら、できる

ことから、進めて参りたいと思います。同窓会の活動を通じて、世代を超えた交流が深まり、同窓生お一人おひとり

のさらなる飛躍に繋がるような、素晴らしい同窓会を目指してゆきたいと思っております。

教育にまつわる近況報告



校長 小暮真之

令和四年度末の人事異動により、本校に着任いたしました校長の小暮真之と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

同窓生の皆様には、日頃から本校の教育活動の充実にご理解とご協力をいただいております。改めて感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響により教育をめぐる環境はかなり変化しました。例えば、以前より計画されていた「一人一台端末」の導入が

結びに、母校の発展と同窓生の皆様のご健康とご多幸を心より御祈念申し上げます。とさせていただきます。

一つは、ここ最近のめまぐるしい環境の変化にあります。顕著な例が、AI（人工知能）の進化です。少し前に、

AIにより現在ある職業の約半分がAIに取って代わられる可能性があると調査結果が出て話題になりました。その調査によると、今後も残ると考えられる職業として「医者」や「教員」、また「クリエイター」などが挙げられましたが、これらの職業に共通するのは、AIの苦手とする「コミュニケーション能力」や「定型的でない判断力」がなければ成り立たないということですので。裏を返せば、これらの力がないと、AIに職を奪われてしまうことになりま

す。もう一つの要因は、日本の労働人口の減少と、外国人の日本への転入増加です。この流れは今後も避けられませんが、この先、常に生み出される膨大な量の情報に対処していくためには、文化も人種も異なった人たちと共に解決策を考えていかざるを得ません。こうしてみると、自分と違う価値観を持った他者とうまくコミュニケーションを取り、新しい解決案を導き出すための固定観念に捕らわれないようにするための訓練が学校で求められている理由がお

分かりになると思います。しかし、このような「コミュニケーション能力」や「定型的でない判断力」は、教室の中だけで全てを身に付けることはできません。さまざまな世代の人たちと、さまざまな状況の中で接していくことによって、より育まれていくものです。コロナの方向性が見え始めた今後、本校では生徒たちをできるだけ外で活動

させていきたいと考えています。その際、同窓生のもとにうかがうことがあるかと思えますので、先の趣旨を踏まえて生徒たちを暖かくご指導いただけたら幸いです。結びに、今後とも、本校の発展のために引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。あいさつの言葉とさせていただきます。

の皆さまと行えましたことは、とても良い思い出になりました。そして、宮田澄江前会長の後を引き継ぎ、平成二十六年六月から会長として会の運営に携わったことは、貴重な経験となりました。特に、平成二十九年十一月十七日の創立百周年記念式典及び演奏会は、役員の皆さまと校長先生はじめ先生方、PTAの方々、それに生徒の皆さんが協力して素晴らしいものになりました。百周年を無事に終えることができた喜び、先輩で今も活躍しておられる見城美枝子様へ感謝を伝えられ



退任にあたって

前会長 仁田 征子 (昭和34年度卒)

私の学生時代の思い出の一つは、館女と館高と関学の三校のJRC部で、表紙に鶴の絵を刺繍したアルバムを現上皇後の美智子様へ贈ったことです。その刺繍は自分たちの手で行いました。他には、三年生の時、予餞会で横田光信先生がアコーディオンを堀越和佐久先生がギターを演奏し、私が時の話題を盛り込んで全校生徒の前でディスクジョッキーをしたことです。その経験から、本当は放送関係

に進みたかったのですが、両親に娘は東京に出せないと反対され、地元の銀行に就職しました。こうして地元に残ったことで、同窓会との縁が深まった訳です。恩師である金澤登志子先生のお誘いで、私は同窓会本部役員になりました。先輩役員に導かれながら、母校のために同窓会のためにと微力ながらお手伝いさせていただきまし

た。その間、総会や文化祭、観劇会など沢山の行事を同窓

たことの名譽、その場に立ち会えたことへの感謝、これらは私の一生の宝物となりました。役員として私なりに精一杯務めさせていただきましたが、本当に同窓生の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、若い役員さんに引き継いでいただき、私は一回窓生として協力して参ります。結びに、同窓会と母校のますますの発展と皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。長い間本当にありがとうございました。

退任にあたって

前副会長 小林 茂代 (昭和40年度卒)

尾曳の城の跡しめて： 当時は何気なく歌っていた校歌ですが、何十年経った今でもすぐ口ずさめる歌詞、メロディー。なんと館女にふさわしい校歌なのでしょう！館女生の心が詰まっているような、卒業して何十年経とうとも忘れることはない校歌なのです。

幸せなことに私は縁あって同窓会本部役員として二十数年本当に長い間務めさせて頂きました。それも歴代校長先生を始め、同窓会長さん、担当事務局の先生方など、皆様方のおかげと感謝申し上げます。同窓会関係行事としては入学式、同窓会総会、観劇会、

開校記念式典、卒業式、文化祭……。特に印象深く強く残っている観劇会は強烈なカルチャーショックを受けた「宝塚」です。また、舞台いっばいに練り広げられる動物たちの歌と踊りに感動した「ライオンキング」。日本の伝統芸能のすばらしさと深さを痛感した「大歌舞伎」……。それぞれが鮮明に思い出されます。文化の香り高い館林にふさわしい館女の観劇会であると同時に、いつも定員いっぱいになる同窓会の絆の強さも感じました。

しかし令和の時代に入り心新たに明るい光を感じた矢先に、誰もが想像を絶する新型コロナウイルスという間に全世界に広がりました。人々の努力により、今は第五類扱いとなり、光明が見え始めています。しかし、まだまだ油断してはならないと思います。

瀬戸内寂聴さんの書物の中に「コロナ禍に巡り合っで一見不幸に見えるけど、こんな時代に生きたということの後々すごく大きな財産になる」という文章を見つづけて

た。見方を変えれば何事も前向きに考えられるということに気づかされ、なるほどと感心させられました。私は館女に入学して箏曲部に入学しました。それがそもその縁で、それ以来ずっと箏曲の世界に入り、指導を続けています。館女の箏曲部の外部講師として今も毎週指導させていた

### お礼の言葉

前副会長 齋藤 弘子

(昭和36年度卒)

平成十六年から本部役員の間に加えていただきました。機会を与えて下さいました六代会長の宮田澄江様、世間知らずの未熟者を導いてくださいました会の皆様、学校職員の皆様にご多幸を、心からお祈り申し上げます。

たくさんの方に参加させていた中で多くのことを学ばせていただきました。己の小ささ、果敢なさを考えさせられることが多々ございました。

また、この数年、コロナ禍に始まり、次々と起こる出来

とても明るく素直で、積極的に活動しております。毎年全国大会出場を立派に果たし頑張っている姿を見る度に、私も生徒のように何事も一生懸命前向きに頑張らなくてはと、逆に生徒に教えられていきます。最後に皆様のご健勝とご活躍、館林女子高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。



### 館女よ、永遠なれ

前校長 和泉 昇

今から半世紀以上も前のこと、私の家の近所に品のいい女性が住んでいました。当時子どもであった私から見ると、たいへん年配の方に見えましたが、おそらくはまだ五十代前半の方だったのでないかと思えます。

私は、まだ小学校に上がる前でした。また、自営業の両親が自宅で忙しく働いていたため、あまり構ってもらえない寂しさもあり、保育園から帰宅して自宅に帽子と鞆を置くと、その女性の家によくおじゃましていました。

ある時、その方から、ご自身の女学校時代の話を聞いたことがありました。その方の出身地は邑楽郡内のある村（現在は町）で、ご自宅から本校（当時の校名は、群馬県立館林高等女学校）まで人力車で通ったそうです。その人力車の車夫の方は、朝、彼女を本校まで送り届けると一端村のお屋敷に戻り、お屋敷の

仕事に従事し、放課後になる時間を見計らって、また迎えに来てくれたそうです。私が今になってもこの話を覚えていくくらいですから、きっと何度も何度も繰り返し話してもらったに違いありません。保育園生だった自分には、当時の社会情勢などよく分らない内容がたくさんありましたが、その話を聞いた

びに、その女性がいかに誇らしく通学し、友好を深め、青春を謳歌していたかが伝わってきたことを思い出します。「学校ってというのは、楽しいところなんだな。」と、当時の自分は思いました。その翌年、自分が入学しようとしている小学校だとして同じだと、勝手に思い込んでいました。

改めて考えてみても、学校というところは本来楽しい場所のはずです。家にいるのと学校に行くのとでは、どちらが楽しいか。私は、学校に行



和泉昇校長先生・山口信行先生(渉外部長)が令和五年三月三十一日をもって、ご退職となりました。同窓会から感謝の気持ちとして花かごを贈らせていただきました。先生方、館女のためのご尽力いただきましてありがとうございます。



和泉前校長 同窓会長 山口先生 猪瀬教頭

くことの方だと思っていま  
す。学校に行けば何とかなる、  
学校に行けば友達に聞ける、  
先生に相談できる、それが最  
高のメリットで、だからこそ  
友人を大切に、先生方の指  
導に従うことが重要だといっ  
も思っています。

自分の置かれた学校が自分に  
任された、自分が最善を尽く  
すべき場所であり、その結果  
として、この学校を生徒が安  
心して過ごすことができる安  
全な場所になければならな  
いと思つて、学校経営に取り  
組んで参りました。

自分が明け、令和五(二〇二  
三)年を迎えました。今年、  
本校は創立百六周年を迎えま  
す。これまで積み上げられて  
きた一年一年を本校で過ご  
し、また本校に携わつてくだ  
さった生徒、保護者、地域の  
方々、教職員、これらすべて  
の方々に深く感謝申しあげま  
す。

現在、群馬県内にはかつて  
十六校あった公立の女子高校  
が、現在六校しかありません。  
しかし、私は、女子高校には  
存在意義があると同時に、果  
たさなければならぬ使命が  
あると思つています。「女子  
高校で安心して、落ち着いて  
学びたい。」という生徒の、  
静かではあるが熱い思いに応  
え続けられるよう、今後の本  
校の取組に期待しております。  
卒業生全員が、「館女を  
卒業してよかった。」と言っ

てくれることを祈っておりま  
す。館女よ、永遠なれ！



新本部役員

- 〈前列左から〉  
奥田会長 小曾根書記  
時崎書記  
〈後列左から〉  
亀田会計 齋藤監査  
小林監査 針谷副会長  
荒井副会長 神戸副会長  
青木副会長

新本部役員のご紹介

(令和4年度より)

- 会計 亀田敦子 (昭50卒)  
監査 齋藤典子 (昭52卒)  
監査 小林章子 (昭53卒)



旧本部役員

創立百五周年記念式典・記念講演会

令和四年十一月二日(水)の午後、館林市文化会館カルピス  
ホールにて創立百五周年記念式典・記念講演会が行われました。  
コロナ禍において、一昨年度は開催見送り、昨年度はリモ  
ト配信での開催でしたが、今年度は久しぶりにホールで大々的  
に行うことができました。母校の伝統を想う、貴重な時間とな  
りました。今年度の講師である稲葉千秋氏のお話や三味線を用  
いての演奏、生徒を壇上上げて太鼓の体験など、とても楽し  
い時を過ごしました。



講師：稲葉千秋氏

プロフィール

- ◆1985年(昭和60年3月) 館女卒業
- ◆1989年(平成元年) 法政大学文学部卒業
- ◆1991年(平成3年) 長唄の手ほどきを受ける
- ◆1993年(平成5年) 国立劇場 第九期 寄席囃子研修生となる
- ◆1995年(平成7年) 研修終了 公益法人 落語芸術協会に入会

現在は、新宿末廣亭、浅草演芸ホール、国立演芸劇場等の寄席や落語会、全国の学校公演でお囃子を演奏中

令和5年度 行事予定

- 令和5年
  - 4月10日(月) 入学式 本部役員会
  - 4月14日(金) 開校記念日 本部役員会
  - 5月下旬 本部役員会 (総会について)
  - 6月3日(土) 同窓会総会・会報発行
  - 6月下旬 関東大会出場後援
  - 7月中旬 全国大会出場後援
  - 9月初旬 本部役員会 (行事について)
  - 11月初旬 開校記念式典・講演会
  - 令和6年
  - 1月初旬 本部役員会(同窓会入会式・今後の予定について)
  - 2月29日(木) 同窓会入会式
  - 3月1日(金) 卒業証書授与式
- \*新型コロナウイルス感染症対策のため、各部の行事日程は変更されることもあります。

## 記念式典・講演会に参加して

小林 章 子（昭和53年度卒）

さわやかな秋晴れの日、開校記念式典と記念講演会が、館林文化会館カルピスホールで行われました。昨年は、コロナ禍の為りモートで教室配信でしたが、今年度は全校生徒が一堂に会しての開催となり、大変嬉しく、始まる前から安堵とともに感激いたしました。

式典は、国歌斉唱からはじまり、校長先生の式辞。館女の歴史をたどり、一日一日を大切に、すべてのことに取り組んでほしいというお話。ふとわが身を振り返る思いでした。

次に同窓会長の祝辞。明るい元気な声で生徒達の背中を押すような温かい言葉。最後にPTA会長の祝辞。キビキビとした動作の中に子供達を思いやる優しい励ましのエール。そして校歌斉唱で、閉会となりました。

その後、引き続き記念講演会が始まりました。当日の空のようなスッキリとした水色の着物をお召しに

なった本年度の講師、稲葉千秋氏が登壇されました。先生は現在、新宿末廣亭・浅草演芸ホール・国立演芸場等のホール落語会、全国の学校公演にてお囃子を演奏中。お笑いの裏方といわれる、囃子方をお仕事にされています。講演の前半は、ご自身の館女時代の話をされました。いつの時代も高校生活は変わりなく、明るくキラキラした時間を過ごしたのだなと感じました。大学を卒業後、就職され転職も経験され、それから、この「囃子方」という職業に巡り合いました。国立劇場の寄席囃子の研究生に応募して現在に続く一歩が始まりました。当時は、子供の頃に三味線を始めた人たちの中に混じって大変な努力をされたようです。一日一度必ず楽器に触れる。簡単そうで結構大変です。洋楽と邦楽との音の響きの違い。耳なれないメロディを自分のものにできたのは努力の賜物だったのでないかと感じました。

後半は、三味線と太鼓、締め太鼓の登場。先生が、楽器の紹介をしながら生演奏してくださいました。普段の生活では三味線を目にする機会はないので、興味津々というところでしょうか。落語家さんが高座に上がるときに三味線でお囃子が弾かれますが、それぞれの落語家さんに独自の曲があるそうで、会場からのリクエストに応じ色々弾いてくださいました。

紙切りという演芸のバックミュージックで紙切りのお題に合った曲を弾くそうで、太鼓と合わせた演奏をしてください、舞台で一一緒に演奏しましょうと、声をかけていただきました。

挙手した十数名の生徒さんが、舞台上へ。積極的に自分から進んで出ていけるなんて素晴らしいことです。大変誇らしく感じました。

先生との演奏は大変盛り上がり楽しかったです。先生のお話の中に興味をもったことは、なんでもやってみるといいですよ。それが、後々色々な場面で生きてきます。経験したことには無駄なことはないと思いますと話されていました。

とつとつとした語り口に親しみを感じ、これからの活躍を館女の同窓生として楽しみにしております。様々な経験談、三味線の演奏ありがとうございました。そして、機会がありましたら寄席にも行ってみたいと思いました。

### ◆開校記念式典

#### 生徒の感想文

落語家というものにあまり興味がなかったり、今まで触れる機会が少なかったりしたけど、今回の稲葉さんの講演会で少しだけ身近に感じました。太鼓の音が思ってたより大きく響いたり、三味線が組み立て式だったり、初めて知ることが多く、日本の伝統文化に触れられてよかったと思います。

二年二組 坂本美和

講演を聞いて、失敗や後悔があるから、その後の成功があると思います。また、稲葉千秋さんはお笑いという自分の好きなことを仕事にしていて素敵だなと思いました。

演奏は生徒も一緒にできるようにしてくれて楽しかったです。二年二組 竹内美月  
夢がないときは、自分の興味があることを進んでやるこ



**同窓生だより**

**館女を卒業してからの私の人生**

ミカレフ ひとみ (昭和53年度卒 旧姓飯島)

とが大切だと知りました。今、将来の夢もあやふやな状態なので、興味がある職業などをしっかりと調べていきたいと思っていました。また、初めて三味線や太鼓を聴いて、一つ一つ

の音にメッセージが込められていることがわかり興味を持ち、とても面白かったです。実際に見に行ってみたいと思っていました。

と様々な言語が飛び交います。妊娠中も日本企業での勤めは続けていたのですが、最後はチャイルドケアの高騰により、やむなく退社しました。息子達が小さい時は、日本大使館後援の「Japan 21」と言うボランティアで、現地の小・中学校で日本の文化を紹介したり、駐在員の奥様方と「読み聞かせの会」という日本の絵本を子供達に読み聞かせるという会のリーダーもしていました。

各地の生徒さんが参加でき、現在は初級から上級まで様々なレベルを担当しています。出産当時、日本の母からの支援もままならず、一人で子育てに悩んでいたこともあり、当時珍しかったオンライン授業のある日本の大学で、「家庭教育学」を専攻し、子供の自閉症から、生育過程の深い勉強を始めました。時差の関係で夜中の二時からの講義に四時まで出て、その後寝ずに子供達を起こし学校へ連れて行ったこともあります。しかもその頃はインターネット初期の時代ですから、回線が切れたり繋がらなかったりと大変苦労しました。また英国では、「Open University」という働きながら勉強できる大学があり、そこで心理学も勉強しました。ある時、盲目・聾と言った人がシスターと一緒に車椅子で来ていたのを見て驚いたのを覚えています。

館女を卒業してから早四十年以上の月日が経ち、気がつけば日本在住期間よりも英国滞在期間の方が長くなっていました。

その後、日本語教師養成講座に入り、日本語教師を目指すことになりました。その講座は、ロンドン大学のSOAS (School of Oriental and African studies) で行われていて、授業が押して子供のお迎えに遅れそうになったり大変な毎日でしたが、目標に向かって走っていたので全く苦になりませんでした。その後縁あって、そのままSOASのランゲージセンターで教え始め、今年で十五年になります。コロナのせいでここ二年はオンラインでの授業ですが、そのお陰で世界

私のあるSOASでは、人種もさることながら老若男女様々な学生がキャンパスを闊歩しています。今の若い人たちは様々な選択肢があつて、ある意味羨ましいと感じ

ますが、日本ではまだ旧態依然の考え方が相変わらずあり、ある一定の年齢でその教育を受け損ねると、チャンスが激減するような気がしますが最近はどうなのでしょう。

私は卒業後、東京の短大を出てそのまま東京で就職しました。夜学で英語を勉強していたその頃は、いわゆるバブル経済期と言われる時代で、カルチャースクールと言われる様々な趣味の学校が連立していました。通っていた英語学校で出会った英国人の先生が、自国に行くことを勧め

その後、日本語教師養成講座に入り、日本語教師を目指すことになりました。その講座は、ロンドン大学のSOAS (School of Oriental and African studies) で行われていて、授業が押して子供のお迎えに遅れそうになったり大変な毎日でしたが、目標に向かって走っていたので全く苦になりませんでした。その後縁あって、そのままSOASのランゲージセンターで教え始め、今年で十五年になります。コロナのせいでここ二年はオンラインでの授業ですが、そのお陰で世界

日本を長く離れていると、日本を外から客観的にしか俯瞰的に見る事ができません。日本には、「出る杭は打たれる」という言葉がありますが、海外では自分の意見を言わなければ自分の声はどこにも届きません。小学校でもディスカッションをさせ、自分の意見を堂々と述べられるように指導されます。現在の日本のコロナ対策などを海外から見ても、ここ英国との違いに愕然とします。

「英国は個人主義」とよく言われますが、これは「自分の行動・言動には自分で責任

と、英国留学を目指すことになりません。ただその頃は留学など当たり前でできるような時代ではありませんでした。

両親とは、とにかく一年だけという約束で、一九九一年七月に一人成田空港を経ちました。その後、縁あって結婚したのが一九九四年です。カナダのオンタリオのロンドンという町で誕生した主人は、父親がマルタ人・母親がオランダ人というかなりユニークな家庭でした。しかも知り合って三か月というスピードで結婚したので、周りは非常に心配しましたが、今年ようやく二十八年度の結婚記念日を迎えました。二人の息子達も成人し、子育てもようやく終焉を迎えたところです。四人兄弟の三男である主人の家族は、義姉の一人がイラン人など多国籍で、家族が集ま

また私のもう一つの仕事は、英国内務省の通訳の仕事です。これは日本人が英国に入国する際、入国管理で英語のサポートが必要な人達のお手伝いをする仕事ですが、これも大変やりがいのある仕事です。

また私のもう一つの仕事は、英国内務省の通訳の仕事です。これは日本人が英国に入国する際、入国管理で英語のサポートが必要な人達のお手伝いをする仕事ですが、これも大変やりがいのある仕事です。

を取る。」ということだと思  
います。現在英国では、コロ  
ナ感染率が再度上昇していま  
すがニュースにもなりません  
。公共機関内でもマスクを  
つけている人は皆無と言って  
いくらいです。政府が「お  
願い」しても、個人の考えで、  
個人の責任に任せるとい  
うスタンスです。日本行きを熱望  
する私の生徒さん達は、日本  
が未だに外国人に門戸を開い  
てくれない「鎖国状態」であ  
ることに歯がゆい思いをして  
います。

将来のある日本の若い人達  
には、もっと視野を広げ、世  
界に出て行って欲しい！と思  
います。今や海外の大学への  
留学も当たり前になっている  
時代です。失敗を恐れて何も  
しないより、とにかく前へ進  
んでみる、失敗したらやり直  
せばいいのですから。それが  
若さの特権です。

「清水の舞台から飛び降り  
る」覚悟で三十一年前にスー  
ツケース一つでこの地に辿り  
着き、山あり谷ありの三十一年  
でありますが、私には後悔は全  
くありません。むしろあの時  
決断していなかったら、今も

日本のどこかで後悔し続ける  
毎日だったと確信していま  
す。しかしどんなに長く海外  
に住んでいても、日本パス  
ポートの所持者である限り、  
「外国人・移民」であること  
に変わりがないことも事実で  
す。選挙の投票用紙が息子達  
と主人だけに三枚送られてく  
るたびに実感します。ですが  
ら、私は自分のアイデンティ  
ティーが常に日本人であると  
言うことに誇りを持ちながら  
生きています。

最後に、この私がか  
やりたいことを常にやってこ  
られたのは、何を隠そう主人  
の支え、理解、サポートがあ  
り、それがなければ実現は不  
可能だったということ。私  
がやりたいことに一度も反  
対せず、子育ても率先して  
やってくれ、二年前には大病  
をし生死の境を彷徨って生還  
してきてくれた主人には本当  
に感謝しています。とうに他  
界した両親も私が幸せに暮ら  
しているのを、安心していつ  
までも見守っていてくれると  
信じています。

(二〇二二年八月記)

## 現在の活動

松 島 亜由美 (原島あゆみ) (平成15年度卒)

「泥棒以外のことは経験し  
なさい」と、これは祖母の口  
癖です。泥棒と大げさに言う  
のが祖母らしいところであ  
るが、「悪いこと以外は何でも  
チャレンジしなさい」という  
意味だそう。興味のある  
ことはとりあえずやってみ  
てみる。そしてその経験はす  
べて芸の肥やしになり、祖母  
の芸事が好きな遣伝子と言葉  
で私が構成されているのでは  
ないかと考えます。

がむしゃらに走った二十  
代、舞台役者になる夢と就職  
しなければならぬ現実の狭  
間で、もがき続けてきた時代  
を経て、現在の、地元で、夢  
を叶えるというスタイルにな  
りました。

館女時代の友達からご縁が  
あり太田市のラジオ局、FM  
TARROでパーソナリティ  
をさせていただくようになり  
十年を迎えました。役者とア  
ナウンサーは異なる職種です  
が、表現し伝えるという点で  
は近いものがあるように感じ

ています。番組ではニュース  
原稿やお天気情報を伝えた  
り、時には街頭インタビュ  
ーで様々な人と出会う人のぬ  
もりに触れたりしています。  
十年でやると「好きこそもの  
の上手なれ」というのを現実  
にしたように感じられますよ  
うになった気がしています。県  
内のイベントMCや結婚式の  
司会者という大役もさせてい  
ただけるようになりました。

しかし、言葉、まして日本語  
は難しいもので、伝え方、言  
い方、順序で相手がどのよう  
に捉えるのか変わると肌で感  
じて苦戦する日々です。  
仕事とは別に並行して演劇  
活動も続けています。高校時  
代に芝居の先輩達と立ち上げ  
た、劇団ブリリアントスマイ  
ルは二十年目となり、コロ  
ナ禍で活動ができない時期を  
乗り越え、感染対策をしながら  
二〇二二年に三年ぶりの  
公演を行うことができました。  
オリジナルミュージカル  
や、「親子で楽しむミュージ  
カル」では、近隣の市町村の

ホールでお客様にクイズやダ  
ンス・手遊びに参加してもら  
う公演を行っています。幼稚  
園・保育園・こども園での訪  
問公演では遊戯室で園児さん  
たちの喜んでもらえる笑顔に  
出会えるのを毎回楽しみにし  
ています。二〇二三年一月、  
館林小中学校PTA連合会  
家庭教育委員会主催で、親子  
で楽しむミュージカルを三の  
丸芸術ホールで開催すること  
になりました。普段は足利市  
や太田市でのホール公演を  
行っていますが、初めての館  
林公演を迎えます。三の丸芸  
術ホールは高校時代に所属し  
ていたダンス部で発表会をし  
ていた思い出のホールです。こ  
うして館林で公演ができること  
に感慨深い気持ちでステー  
ジに立ちます。

また、館林でのご縁はさら  
に「カルピスみらいのミュー  
ジウム」にもあります。館女  
時代の友達からの紹介で働き  
始め、カルピスの製造工程や  
歴史を紹介する案内係として  
勤務しています。館女出身の  
同僚(十五歳くらい年下!)も  
も他に数名いて、昼休みには、  
どこことなく高校時代の雰囲気

を感じています。

今のスタイルが軌道に乗るまでは、就職をしたこともありませんが、ファーストフード店や塾講師、アパレル店、クリーニング屋、工場などのアルバイトもしていました。今では市民権を得ている「フリーランス」や「ダブルワーク」を十年以上前からやっています。どの職業もすべて、経験で私の宝物です。

館女時代のご縁が繋がりが今の私があります。仕事や舞台の稽古で、友達となかなか遊

### 母校訪問

令和四年七月一日(金)に村松智恵子さん(旧姓小林)(昭和18年度卒)がご家族と母校を訪問されました。校長室にて当時の写真や卒業生名簿などをご覧になり、母校を懐かしみました。当時と変わらない校歌を聴いて、当時の思い出がよみがえってくるようで、多くの思い出を語ってくださいました。また現在では唯一の当時の建物である、同窓会館にも立ち寄り、飾られている五つの校訓をご覧

べないのですが、とても大切な存在で、感謝してもきれません。

誰にでも紆余曲折はありますがその中でも自分の意志を貫けば、何かひとつ人生のかけがえのないものを感じたり、手にしたりするチャンスがあるはずです。在校生の皆様も素敵な学生生活を過ごされますよう、悔いなくぜひ学生の今しかできない経験をされてください。

最後に、この原稿の依頼をいただいた館女時代からの友なり、女学校時代を思い出しているようでした。

同窓生として、いつまでもたつても忘れることのない高校時代の思い出や、母校に対する気持ちを大変嬉しく思いました。



人であり教員として凱旋されている下城先生の今後の活躍をお祈りします。(二〇二三年十二月記)

### ローイングマシン購入のお礼と活動報告

この度はローイングマシンを四台購入していただきましてありがとうございます。ボート部は現在二年生六名、一年生八名と例年になく恵まれた人数で活動しています。令和四年度はボート部にとって躍進の年でもありました。

関東大会優勝・入賞から国体三位、関東選抜大会優勝・入賞という成績を収めることができました。今後もさらなる活躍のためマシンとともにトレーニングに励みます。

ボート部 顧問 中溝貴善

### 【同窓会の皆様へ】

この度、館林女子高校ボート部にエルゴ四台を寄付していただきありがとうございます。部員一同、一生懸命練習に取り組んでおります。

大会で良い結果が残せるよう、頑張ってください。ご声援宜しくお願い致します。

ます。

館林女子高校ボート部一同

### ボート部

### 木部結月さん(三年三組) 日本代表決定!!

ボート部の木部結月さんが、二〇二三年U19日本代表選考レース(U19 SBS)競漕にて第6位入賞を果たし、二〇二三年アジアボートジュニア選手権日本代表選手に決定しました。

また、二〇二三年世界ボートジュニア選手権大会日本代表候補選手として、強化合宿などに参加し、さらなる技術の向上を目指します。同窓生一同、今後の活躍を期待しております。



アトラクタオリピック出場記念樹の標柱が新しくなりました。

パーキンソン赤城千恵子さん(昭和59年度卒)の1996年アトラクタオリピック出場(女子カヤックペア500m)の記念樹が大きく成長し、この度、標柱(植樹日などが書かれた柱)を新しくしました。

同窓生の活躍を記念した記念樹と新しい標柱を、母校へお越しの際は是非ご覧になってください。校舎南側の東(館女会館や体育館への通路側)にあります。





# 母校に本を寄贈!!

令和4年3月に同窓生有志の方々から、母校の図書館へ多くの本を寄贈していただきました。

生徒達は、早速新しい本に興味を示していました。ありがとうございました。大切にします。



親を頼らないで生きるヒント	NPO法人ブリッジフォースマイルとコイケジェンコによる本	
司書の日		保育社
ぷっくりクッキーとかわいい焼き菓子たち	mocha mocha 著	KADOKAWA
大人が楽しいトランプゲーム30選	すごろくや	
それいけ方言探偵団	篠崎晃一 著	平凡社新書
特許やぶりの女王	南原 詠 著	宝島社
珈琲店タレーランの事件簿	岡崎琢磨 著	宝島社文庫
20CONTACTS消えない星々との短い接触	原田マハ 著	幻冬舎文庫
小説の神様	相沢沙呼 著	講談社タイガ
不思議の国ニッポン	グーリエ・ジャポン 編	講談社現代新書
都会のトム&ソーヤ (19)	はやみねかおる 著	講談社
ワンダフル・ライフ	丸山正樹 著	光文社
働く人のための言いかえ図鑑	大野萌子 著	サンマーク出版
マイテーマの探し方	片岡則夫 著	ちくまブックス
ヴィジュアルを読みとく技術	吉岡友治 著	ちくま新書
夫婦別姓	田口理穂 著 他6名	ちくま新書
格差という虚構	小坂井敏晶 著	ちくま新書
シャーロックホームズの冒険	アーサー・コナン・ドイル 著 深町眞理子 訳	創元推理文庫
緋色の研究	アーサー・コナン・ドイル 著 深町眞理子 訳	創元推理文庫
ブラックボックス	伊藤詩織 著	文春文庫
タラント	角田光代 著	中央公論新社
学校の危機管理マニュアル		文部科学省
図鑑心理学	トム・ジャクソン 著 清水寛之・井上智義 訳	
3人で親になってみた	杉山文野 著	
丘の上の賢人	原田マハ 著	集英社文庫
ABC殺人事件	アガサクリスティー 著 堀内静子 訳	ハヤカワ文庫
鏡は横にひび割れて	アガサクリスティー 著 橋本福夫 訳	ハヤカワ文庫
ディズニープリンセス	白雪姫	

新型コロナウイルスに翻弄されていた日々でしたが、その終わりが近いといえる世の中になってきました。この三年間に失ったもの、得たもの

## 編集後記

を今後活かしていけたら、無駄な三年間ではなかったと言いうことができると思います。(記：下城)

\*記事の多くは令和四年に執筆したため、コロナ関連等の記述が古いことがあります。

## 〔退職〕

和泉 昇 校長  
山口 信行 国語

## 令和五年度 人事異動

## 〔転出〕

乗原 飛鳥 国語  
高橋 美子 保健体育  
瀬山 亮 保健体育  
高橋布美恵 英語  
坂本 将 音楽  
中溝 貴善 保健体育  
小泉 一宏 事務  
中村悠理乃 国語  
木村立夏子 地歴・公民  
吉本 唯 英語

## 〔転入〕

小暮 真之 校長  
酒井 敦史 国語  
堀越 健 保健体育  
根岸 大輔 国語  
宮下 京子 英語  
小瀧 和人 国語  
小林 璃奈 保健体育  
前田 知樹 音楽  
酒卷 有利 保健体育  
藤野 秀章 事務

西邑楽高等学校  
渡良瀬特別支援学校  
太田女子高等学校  
太田市立太田高等学校  
群馬県教育委員会  
館林高等学校  
伊勢崎高等特別支援学校  
板倉高等学校  
館林高等学校  
館林高等学校(新採用)

学校人事課  
太田市立太田高等学校  
桐生高等学校  
太田高等特別支援学校  
新採用  
新田暁高等学校  
栃木県宇都宮白楊高等学校  
渋川青翠高等学校  
新卒  
館林商工高等学校

令和5年度入試の合格校等一覧

【四年制大学】  
〔国公立大学〕

学校名等	分類	合格者数
群馬	国大	1
新潟	国大	1
上越教育	国大	1
群馬県立女子	公大	6
群馬県立県民健康科学	公大	2
高崎経済	公大	2
国公立大学計		13

〔私立大学〕

学校名等	分類	合格者数
関東学園	私大	1
共愛学園前橋国際	私大	3
桐生	私大	6
群馬医療福祉	私大	3
群馬パース	私大	7
高崎健康福祉	私大	7
上武	私大	2
酪農学園	私大	1
足利	私大	4
国際医療福祉	私大	1
獨協医科	私大	3
白鷗	私大	7
跡見学園女子	私大	2
埼玉工業	私大	1
日本工業	私大	1
城西	私大	1
女子栄養	私大	1
尚美学園	私大	1
東京国際	私大	1
東都	私大	3
獨協	私大	7
人間総合科学	私大	2
文教	私大	10
明海	私大	1
千葉商科	私大	1
城西国際	私大	1
青山学院	私大	1
大妻女子	私大	4
恵泉学園	私大	1
杏林	私大	2
駒澤	私大	1

学校名等	分類	合格者数
実践女子	私大	1
芝浦工業	私大	2
昭和女子	私大	4
成蹊	私大	3
大東文化	私大	3
中央	私大	1
帝京	私大	1
東海	私大	1
東京家政	私大	5
東京家政学院	私大	1
東京工科	私大	1
東京電機	私大	2
東洋	私大	2
日本	私大	2
日本女子	私大	1
日本女子体育	私大	1
目白	私大	2
立正	私大	7
神奈川	私大	1
岡山理科	私大	1
サイバー	私大	1
私立大学計		130
四年制大学計		143

【短期大学】

学校名等	分類	合格者数
育英短大	私短大	1
群馬医療福祉大短期大学部	私短大	1
新島短大	私短大	1
足利短大	私短大	1
佐野日本大学短大	私短大	4
秋草学園短大	私短大	1
埼玉純真短大	私短大	4
武蔵丘短大	私短大	1
共立女子短大	私短大	1
女子栄養大学短期大学部	私短大	1
東京成徳短大	私短大	1
女子美術大学短期大学部	私短大	1
短期大学計		18

【専修各種学校】

学校名等	分類	合格者数
太田高等看護学院	専門	2
館林高等看護学院	専門	7
太田医療技術専門学校	専門	5
太田情報商科専門学校	専門	5
大泉保育福祉専門学校	専門	1
群馬自動車大学校	専門	1
群馬日建工科学院	専門	1
高崎ビューティーモード専門学	専門	1
中央医療技術専門学校	専門	1
中央情報経理専門学校	専門	1
中央工学校	専門	1
足利製菓専門学校	専門	2
足利デザイン・ビューティ専門	専門	7
上尾中央医療専門学校	専門	1
大宮こども専門学校	専門	1
大宮ビューティ&ブライダル専門	専門	1
大宮スイーツ&カフェ専門学校	専門	1
創形美術学校専門学校	専門	1
コーセー美容専門学校	専門	1
東京医療福祉専門学校	専門	1
東京工学院専門学校	専門	1
東京アニメーター学院	専門	1
東京ベルエポック専門学校	専門	1
東京リゾート&スポーツ専門学	専門	1
東日本デザイン&コンピュータ	専門	1
山野美容専門学校	専門	1
呉竹医療専門学校	専門	1
文化服装学院専門学校	専門	1
新潟薬科大学医療技術専門学校	専門	2
京都建築大学校	専門	1
専修各種学校計		53

【就職】

企業名	分類	就職者数
富士食品工業株式会社	事務	1
就職計		1